

平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 野崎 伸一 TEL 06-6765-0670
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	1,135	△39.0	△37	—	△38	—	△42	—
27年2月期第1四半期	1,860	19.2	17	—	15	—	19	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 △39百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 21百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	△5.13	—
27年2月期第1四半期	2.38	2.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	3,240	1,596	48.9	192.74
27年2月期	3,341	1,656	49.3	200.01

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,585百万円 27年2月期 1,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	△9.0	51	—	41	—	78	—	9.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期1Q	8,363,103株	27年2月期	8,363,103株
28年2月期1Q	134,269株	27年2月期	134,183株
28年2月期1Q	8,228,851株	27年2月期1Q	8,229,061株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、1,135百万円（前年同四半期比39.0%減）、営業損失は37百万円（前年同四半期は17百万円の営業利益）、経常損失は38百万円（前年同四半期は15百万円の経常利益）、四半期純損失は42百万円（前年同四半期は19百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、新規キャラクターを積極的に取得するとともに、大手チェーン店に対するOEM企画提案の強化を図りました。商品面では、LINEスタンプデザインの「あらいぐまラスカル」や当社オリジナル「忠犬もちしば」が好調だったものの、前期ヒットした「ted」や「ふなっしー」等の売上には及ばず、売上高は529百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

SP（セールスプロモーション）部門におきましては、前期好調であった製菓業界を中心とした販売促進商品の案件及び出版会社の大口付録案件がなかったことから、売上高は110百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

利益面では、経費の削減等を進めましたが、売上高減少の影響により営業損失となりました。

以上の結果、売上高は639百万円（前年同四半期比46.2%減）、営業損失は26百万円（前年同四半期は2百万円の営業利益）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、前期に好調であったゆるキャラ商品、ゲーム・コミック及びアニメなどで展開され人気であったキャラクター商品の落ち込み、また条件面の精査による一部の得意先様との取引の中止により、売上については前期を下回る結果となりました。

また、利益についても商品在庫の評価減を計上したこと等により、営業損失を計上いたしました。

今後につきましては、アニメキャラクター専門店へ向けたぬいぐるみの新カテゴリー商品を発売すること、ゆるキャライベントに次ぐアニメキャラクターのイベントを開始し、全国の百貨店や雑貨専門店イベント販売を強化してまいります。

以上の結果、売上高は496百万円（前年同四半期比26.1%減）、営業損失は20百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、3,240百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加額78百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の減少額130百万円及び商品の減少額22百万円、電子記録債権の減少額16百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、1,644百万円となりました。これは主に、流動負債「その他」の増加額78百万円により一部相殺されたものの役員退職慰労引当金の減少額100百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、1,596百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額62百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月21日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、簡便法を適用しているため、退職給付債務及び勤務費用の計算方法に変更はありません。

この結果、当第1四半期連結累計期間での損益及び純資産に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,422	982,482
受取手形及び売掛金	752,579	621,820
電子記録債権	104,441	87,990
商品	366,515	343,842
繰延税金資産	6,859	10,613
その他	84,685	77,864
貸倒引当金	△5,921	△4,820
流動資産合計	2,213,583	2,119,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	516,195	516,195
減価償却累計額	△192,482	△195,883
建物及び構築物（純額）	323,712	320,311
車両運搬具	9,586	8,480
減価償却累計額	△8,067	△7,285
車両運搬具（純額）	1,518	1,194
その他	124,461	127,561
減価償却累計額	△102,774	△106,849
その他（純額）	21,686	20,712
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	886,412	881,711
無形固定資産		
投資その他の資産	95,165	87,354
投資有価証券	28,243	31,962
退職給付に係る資産	30,799	34,191
繰延税金資産	1,377	—
その他	101,034	100,427
貸倒引当金	△14,829	△14,804
投資その他の資産合計	146,625	151,776
固定資産合計	1,128,203	1,120,842
資産合計	3,341,787	3,240,635

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	422,482	400,558
短期借入金	920,000	920,000
未払法人税等	6,438	4,398
繰延税金負債	183	1,069
賞与引当金	15,847	16,474
その他	171,370	250,042
流動負債合計	1,536,322	1,592,542
固定負債		
繰延税金負債	11,347	14,496
役員退職慰労引当金	137,305	37,114
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	148,871	51,828
負債合計	1,685,193	1,644,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,550	441,550
資本剰余金	472,489	472,489
利益剰余金	781,087	718,341
自己株式	△51,288	△51,308
株主資本合計	1,643,839	1,581,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,411	7,198
繰延ヘッジ損益	332	1,934
為替換算調整勘定	△3,679	△4,210
その他の包括利益累計額合計	2,064	4,923
新株予約権	10,689	10,267
純資産合計	1,656,593	1,596,264
負債純資産合計	3,341,787	3,240,635

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年3月1日 至平成27年5月31日）
売上高	1,860,227	1,135,613
売上原価	1,388,065	840,207
売上総利益	472,162	295,406
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	163,565	133,758
賞与引当金繰入額	0	626
退職給付費用	10,248	3,987
役員退職慰労引当金繰入額	1,795	△7,567
貸倒引当金繰入額	8,824	△1,125
その他	270,566	203,531
販売費及び一般管理費合計	455,001	333,209
営業利益又は営業損失（△）	17,161	△37,803
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	314	84
受取家賃	1,409	1,612
為替差益	—	70
賃貸収入	1,412	406
その他	1,024	453
営業外収益合計	4,190	2,664
営業外費用		
支払利息	1,857	3,422
投資有価証券評価損	1,676	—
為替差損	765	—
賃貸原価	1,805	184
その他	2	37
営業外費用合計	6,106	3,645
経常利益又は経常損失（△）	15,244	△38,783
特別利益		
新株予約権戻入益	1,885	570
保険返戻金	3,743	—
特別利益合計	5,628	570
特別損失		
固定資産売却損	—	26
固定資産除却損	—	637
特別損失合計	—	664
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	20,872	△38,878
法人税、住民税及び事業税	557	3,991
法人税等調整額	732	△696
法人税等合計	1,290	3,295
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	19,582	△42,173
四半期純利益又は四半期純損失（△）	19,582	△42,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	19,582	△42,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△820	1,787
繰延ヘッジ損益	2,820	1,602
為替換算調整勘定	24	△531
その他の包括利益合計	2,024	2,859
四半期包括利益	21,606	△39,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,606	△39,314
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,188,964	671,262	1,860,227	—	1,860,227
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33,216	7,902	41,119	(41,119)	—
計	1,222,181	679,165	1,901,346	(41,119)	1,860,227
セグメント利益	2,616	3,934	6,550	10,610	17,161

(注) 1. セグメント利益の調整額10,610千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	639,512	496,100	1,135,613	—	1,135,613
セグメント間の 内部売上高又は振替高	70	6,773	6,843	(6,843)	—
計	639,582	502,874	1,142,456	(6,843)	1,135,613
セグメント損失(△)	△26,917	△20,717	△47,635	9,831	△37,803

(注) 1. セグメント損失の調整額9,831千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（重要な資産の譲渡）

当社は、前連結会計年度末において「重要な後発事象」として開示しておりました下記の固定資産の譲渡を、平成27年6月12日に実行いたしました。

(1) 契約の目的

経済情勢、経営環境等を勘案し、保有資産の最適化を図る目的で固定資産を譲渡いたしました。

(2) 契約する相手先の名称

契約先は、国内の一般事業者（不動産業）ですが、守秘義務契約により名称の公表は差し控えております。なお、当社グループと契約先との間には、資本関係、人的関係、関連当事者としての特記すべき事項はありません。

(3) 譲渡資産の内容

- ①資産の名称 : 旧東京営業所
資産の内容 : 土地103.70㎡
建物447.85㎡
所在地 : 東京都台東区蔵前四丁目17番8号
譲渡前の用途 : 賃貸
- ②資産の名称 : SK Flats
資産の内容 : 土地107.43㎡
建物152.90㎡
所在地 : 東京都台東区寿三丁目7番13号
譲渡前の用途 : 従業員社宅
- ③資産の名称 : ライフコア蔵前
資産の内容 : 土地 8.34㎡(共有持分面積)
建物 43.37㎡
所在地 : 東京都台東区蔵前三丁目16番1号
譲渡前の用途 : 賃貸
- ④資産の名称 : ロワール浅草寿
資産の内容 : 土地 7.49㎡(共有持分面積)
建物 37.80㎡
所在地 : 東京都台東区寿三丁目13番3号
譲渡前の用途 : 賃貸

(4) 損益に及ぼす影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、平成28年2月期第2四半期において、固定資産売却益61,964千円を特別利益として計上する予定であります。